



第7号 令和7年9月26日(金)発行

敦賀気比高等学校・同附属中学校 教育相談室

メールアドレス sodan@tsurugakehi.ed.jp

生きるとは

私はひとり、暗黒の宇宙空間に浮かんでいる。
真っ暗闇なので、自分がどういう状況にあるのかわからない。
ただ、とても多くの星々が周囲に点在しているのが見える。
手足をバタつかせることはできるが、それによって何かが変わったという実感は得られない。
どういうわけか呼吸はできていて、宇宙線による危険性はないようである。
この宇宙空間で、このまま浮遊して生き続けるとしたら…
どうだろう？

人が生きるとは、この世界と対峙^{たいじ}することである。
自分ひとりが浮遊する宇宙空間では、何かをしたという実感は得られず、何かを知ることもできない。
私たちは、この地球に存在するありとあらゆる事象から多くの刺激を受けて、学んでいる。
暗黒の宇宙空間に、ずっと浮遊し続けることと比べたら、
この地球は、何て刺激的なもので溢^{あふ}れていることだろう。
見るもの、触るもの … 何もかも、すべてがエキサイティングである。



私たちは、内なる欲求によって行動し、学んでいく。
そして、外からの要求によっても行動し、学んでいく。
いつからか内面に様々な線引きが行われ、多くの区別と判断がなされるようになった。
それによって、良し悪し、好き嫌い、幸せ不幸せ … などが生まれ、
その結果、気分、喜怒哀楽、心理的ストレス … などが生じるようになっていった。

人の、苦や危険を避けようとする本能は、人が「より良く生きよう」とする傾向を生み出すのだろうか。
私たちは様々な体験を通じ、自分の内に引かれた線をまたぎ、あっちに行ったりこっちに来たりしている。
そして、様々な感情を味わっている。

この地球上で生きるとは、体験を通して、様々な刺激を受け、多くの自分を発見することである。
あなたの内なる線引きの仕方やその有無によって、物事の見え方は全く異なってくる。
あなたは、これまでどんな自分を発見してきたのだろう。
そして、これからどんな自分を発見していくのだろう。



スクールカウンセリングのご案内

10月は、下記の日程でスクールカウンセリングを行います。
気持ちが少し疲れて、誰かと話をしてみたいと思う人は、担任の先生
あるいは教育相談室まで申し出てください。

第1回 9日(木) 第2回 17日(金) 第3回 30日(木)

※ スクールカウンセラーの門石さんのご都合で、日程が変更になることがあります。
あらかじめご了承ください。

